

金沢区公園愛護会便り

平成23年3月25日 No. 24
金沢土木事務所公園愛護会担当発行

春が来ましたが・・・



テレビをつけると、東日本大震災のニュースと、原子力発電所の事故のニュースで心痛むことの多い毎日です。どうか被災された地域の方々が、1日も早く元の平和な暮らしに戻れますよう心からお祈りしています。

金沢区の公園愛護会の皆様におかれましても、日々の活動にご尽力いただきありがとうございます。無理をされず、お体を大切に、また今年度もよろしくお願いいたします。

お願い

その1) 提出書類① (4月15日必着) 金沢土木事務所に (ピンクの封筒で)

- 平成23年度公園愛護会費口座振り込み依頼書
- 平成23年度現況届または、公園愛護会長変更届
- 公園愛護会物品の届け先確認書
- 愛護会費振り込み先口座の通帳コピー

その2) 提出書類② (4月28日必着)

- 平成22年度 第4期活動報告書
- 平成22年度公園愛護会活動の収支

お知らせ

その1) 「第5回公園愛護会のつどい」を開催 テーマ: 「みんなでつくるいこいの公園」 サブテーマ: 「公園はあったかいぞ！」



2月8日、金沢公会堂で愛護会の皆さんと地域の代表のみなさんを交え、「金沢区公園愛護会のつどい」を開催いたしました。皆様のご協力で公会堂が

ほぼ満席になるほどの参加をいただき、文字どおり **みんなであったかい** 交流が持てました。↑写真は、「わいわいトーク」のコーナーで会場の皆さんが意見交換をしています。



←は、愛護会活動の日以外にも長く日常的に個人で公園の手入れをしていただいている方々に区長から感謝状が手渡されました。左から渡辺好郎さん、星野紀彦さん、榎原初枝さん、橋本区長、直井敦子さん、加藤秀雄さんです。皆さんありがとうございます。

その3) 公園愛護会活動中の旗について



左の写真の旗をご希望の愛護会には差し上げますので同封の申込票で申し込んでください。活動しているときに出しておく、地域の方々には協力が得やすくなるでしょう。(2メートルぐらいまで高さ調節できます)

第4期技術支援報告

その1) 第5回「公園の安全な使い方講習会」

3月9日(水) 堀口公園 並木・長浜・堀口・富岡



地区の愛護会の皆さん25名の参加で講習会を行いました。5年前、区の南(六浦地域)から始まり、5回目の今回は北方面の愛護会対象でした。横浜市の遊具点検の現状をお知らせし、子供たち

を見守るポイントもお伝えいたしました。23年度(平成24年3月予定)は、金沢区の中央地域に戻ります。

その2) メッセージボード取り付けイベント

2月20日(日) 八景西公園

樹名板の下に、愛護会でつくった樹木の説明板(メッセージボード)を40本の木に取り付け



ました。子どもたちは公園のごみを拾い、焼き芋の準備。芋を焼いている間にみんなで綱引きを楽しみました。後はおいしい焼き芋タイムです。若いお父さんたちとお母さんたちが大活躍でした。



23年度第1期技術支援予定

(以下の講習は複数の公園愛護会対象です。)

その1) 種まき講習 4月11日(月)

10:00~土木事務所

その2) カルマー講習

- ① 5月24日(火) 14:00~ 草舞台公園
- ② 6月1日(水) 10:00~ 八景公園
- ③ 7月4日(月) 14:00~ 谷津坂第一公園

その3) 中低木の刈り込み講習

- ① 6月11日(土) 10:00~
能見台野地久保公園
- ② 6月23日(木) 10:00~ 奥座公園
- ③ 7月14日(木) 10:00~ 泥亀公園

*以上の講習は23年度分の技術支援のご希望をいただいた愛護会対象に実施いたします。各愛護会には個別にご案内を差し上げていますが、日程やご都合が合わない場合はお知らせください。同じ内容の場合、他の日程に移動していただくこともできます。その旨ご連絡ください

(781)-2515

「環境リーダー会」便り

その1)「愛護会のつどい」劇団みどり



昨年に引き続いての寸劇です。今年は、「わいわいトーク」の話題提供に全員が小学生になりました。平均年齢の高い、ランドセルと半ズボン姿の小学生たちです。昨年より演技力がつ

たと自画自賛しています。

その2) 犬の散歩マナーポスター



金沢福祉保健センターからのポスターを同封いたします。公園内の掲示板や目立つところに掲示してください。「愛護会のつどい」前に愛護会の皆さんに出していただいたアンケートで犬のマナーが問題になっていましたので、環境リーダーが金沢福祉保健センターに相談したところ検討されこのポスターが作られました。

公園豆知識

その1) 公園の雑草

草舞台公園

渡辺好郎

雑草の名前を調べ始めたのは、愛護会活動中の仲間の一言「孫に草の名前を教えたい」でした。そこでデジカメと電子辞書を片手に普段、生えて困る雑草を見直し、調べ始めました。今までに100種類以上調べましたが、どれも環境に合ったやり方で工夫して子孫を残すすぐれものです。少しご紹介しましょう



シロツメクサは江戸時代、日本はオランダと貿易を行いガラス製品等を輸入していました。壊れやすいガラス製品を納めた箱の中に緩衝材として詰められていたのがこれです。詰め物として使われたから詰め草(ツメクサ)というわけです。四つ葉のクローバーは幸せを運びます。



これは早春に咲く**ネジバナ**です。草舞台公園の刈り込みのあと可憐な姿を見せ、見事な群生もあります。

下は、ネジバナとそっくりですが、**ツルボ**と言い秋に咲きます。



上の方はまだつぼみの状態。下の方から順番に、薄紫色の花が咲いていきます。ちいさい火花がプチプチとはじけているみたいです。今私はこの

ように雑草にはまっています。

*筆者渡辺さんは、愛護会のつどいで区長から感謝状を手渡されたうちの一人です。

その2) 今年の公園リニューアル

土木事務所 矢口

六浦公園の新しいロケット型複合遊具



今年の3月に六浦公園の遊具が新しくなりました。六浦公園は昭和36年からある公園で、昔から『ロケット公園』の名前で親しまれ

ており、いつ訪れてもたくさんの子供達が元気に遊んでいます。

今回の工事では**ロケット形の複合遊具**をはじめ、**フランク**、**鉄棒**、**すべり台**、**ステップ遊具**をすべて新しく設置いたしました。古いロケットで遊んだ子どもたちはもう30歳から40歳代になっています。

「六浦公園」といってもわからないのに「ロケット公園」というとみんなわかるほど有名でした。残念



ながら古いロケット遊具は引退しましたが新しいロケットが今後活躍いたします。これからも多くの子供達に利用され、遊びに来る子供たちに『ロケット公園』の愛称

↑懐かしいロケット型遊具

と呼ばれ続けるでしょう。

編集後記

【金沢土木事務所 Tel.781-2515 FAX781-2822】

メールアドレス kz-aigokai@city.yokohama.jp

今年の公園愛護会のテーマ「公園はあったかいぞ!」

今回の大地震と津波の甚大な被害にもかかわらず、日本人のモラルの高さは、世界各国の報道で絶賛されています。避難所での譲り合い、支え合い、他人を思いやる心。これらは世界一だと。これは一朝一夕にできることではありません。私たち日本人が長い間かかっていた誇れる精神だと思えます。

今もし首都圏で同じようなことが起これば、避難所は、まず近くの街区公園になります。お年寄りや小さい子どもたちも含め地域が結束しなければ危機をのりきれないでしょう。

先日、当事務所を訪れた愛護会の方が神戸の地震を体験したときに、近所がまず声をかけ合い安否確認をし、近くの公園でテントを張ったり、箱形のガレージでご近所が寄り添ったりして困難な時を乗り切ったと言われていました。

これらのことは愛護会の皆さんが普段公園を安全に管理していただいているからこそ可能になることです。活動を通じて近所の方々と顔見知りになること親しくなることは本当に大切なことなのです。

あったかい公園を作っていきましょう。

よろしく願いいたします。